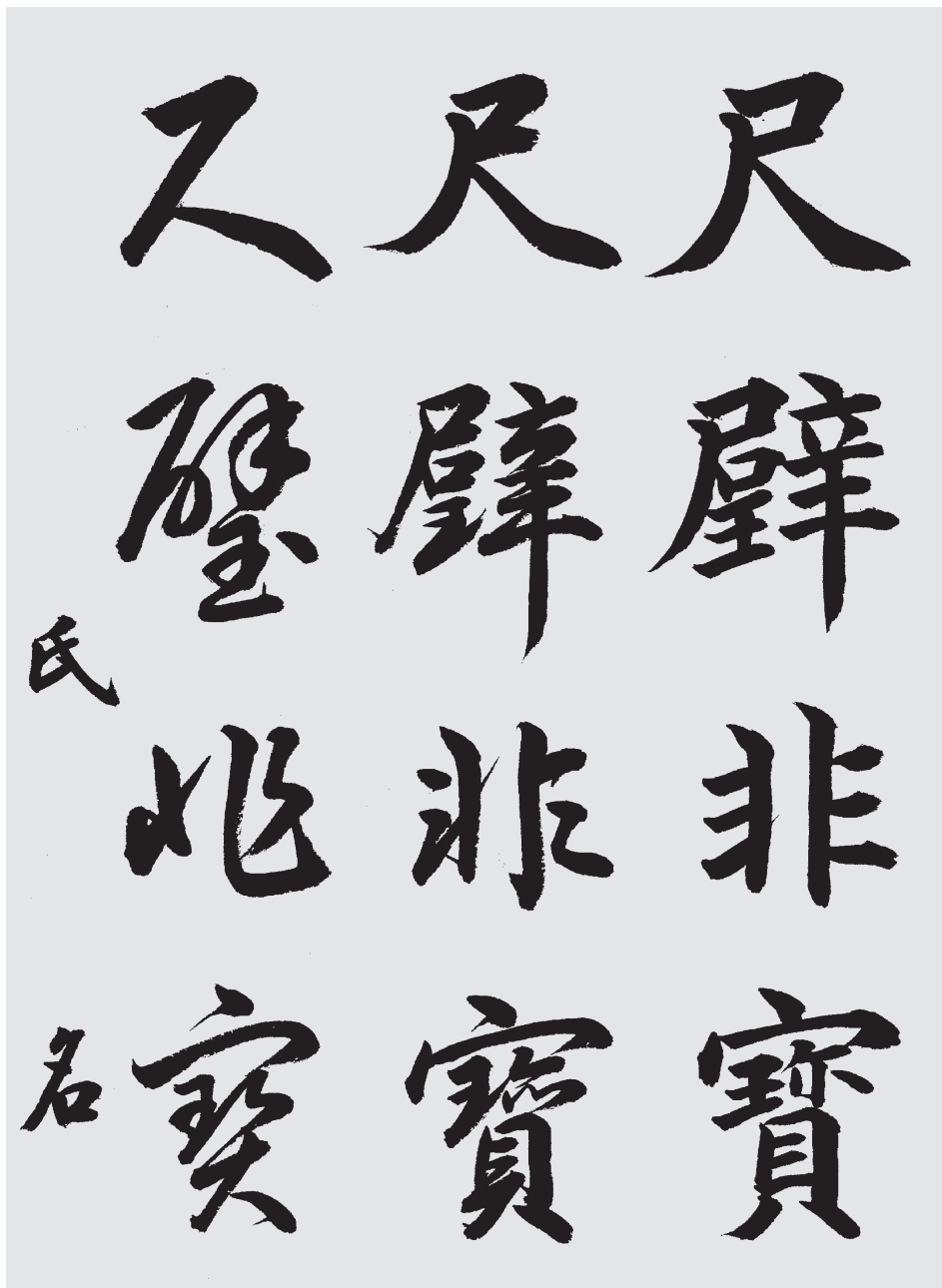


三体千字文を書く (59)

締切り 十一月二十一日 (必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初學者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

三尺 非寶

壁 非寶

一尺の玉も宝とはいえない、
わずかの時間こそ、これを追え。

一般部規定課題

締切り 11月21日(必着)

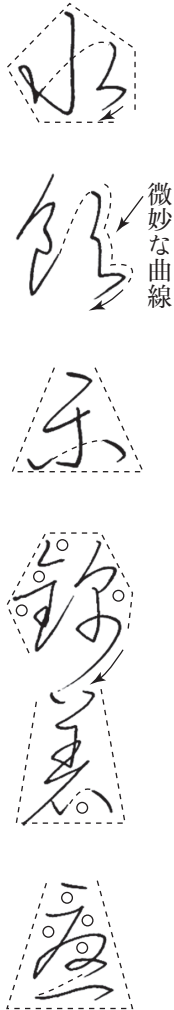
準初段から六段まで

新入から1級まで

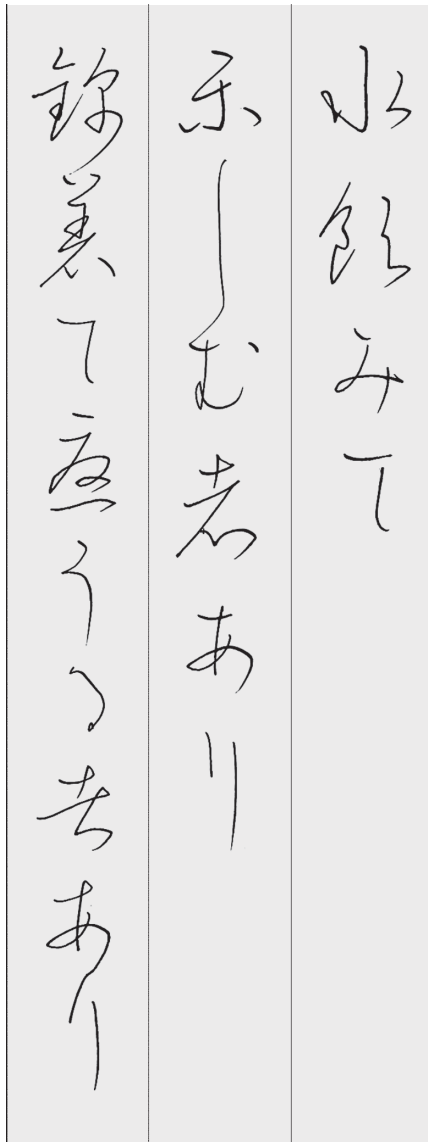
〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕水飲みて 楽しむ者あり 錦着て憂うる者あり



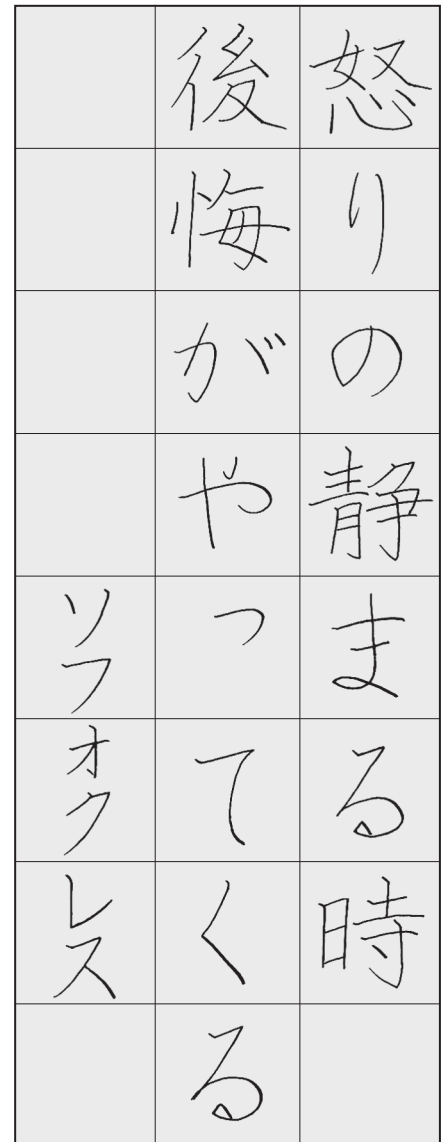
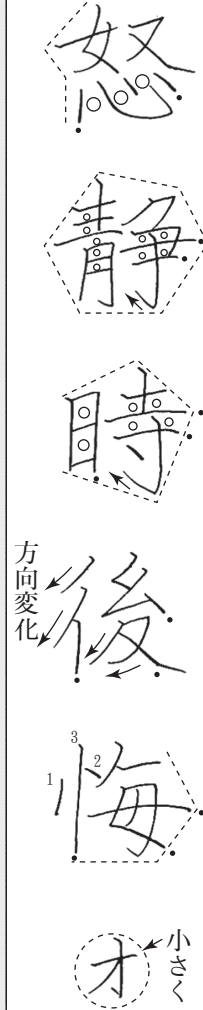
▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。



お 郷 翠 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



古 田 瑞 苑 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆12月課題予告(楷書)
わが心深き底あり
喜びも憂いの波も
届かじと思う
▼教範・書範Ⅱ行草または草書
▼師範Ⅱ行書

★水を飲みて…(書体Ⅱ行草または草書)
中根東里(一六九四〜一七六五)
江戸時代の儒者
このことばは「貧しくして道を楽しむ」ようにすすめた孔子のことばに基づくものでありましょう。
知足することを知れば、たとえ貧しくても、自分の生き方そのものが楽しめるのです。

◆12月課題予告(行書)
苦惱を突き抜けて
歓喜にいたれ
ベートーベン

★怒りの…(書体Ⅱ楷書)
ソフォクレス
(紀元前四九七〜紀元前四〇六)
ギリシャの劇作家
ソフォクレスはギリシャ三大悲劇作家の一人で、神々に支配される人間の運命を描いた「オイディプス王」など
が有名です。
一時の怒りに駆られた衝動的な行動はたいてい後悔の原因になるものですから、怒りを抑える意志の力が大切だ
というのです。

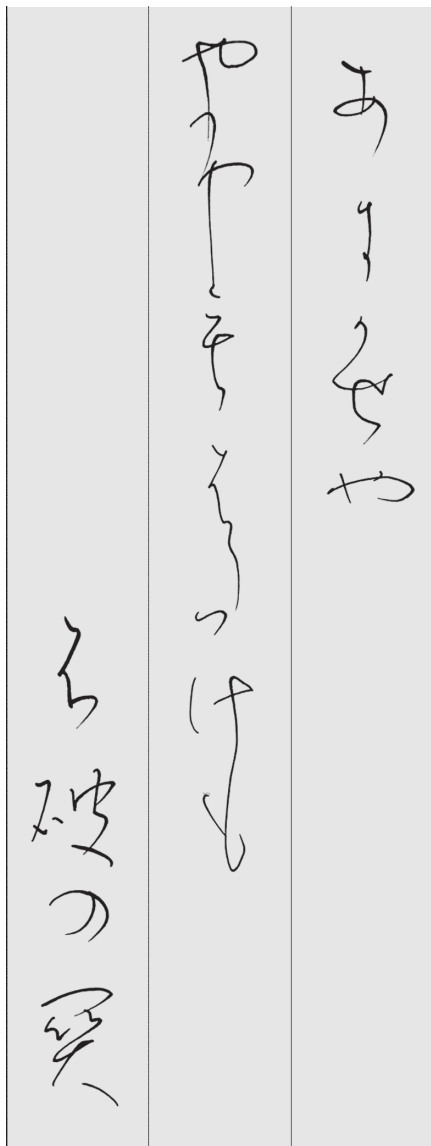
一般部かな課題

締切り 11月21日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

あ支可世
や布毛者多け
秋風や藪も畠も不破の関

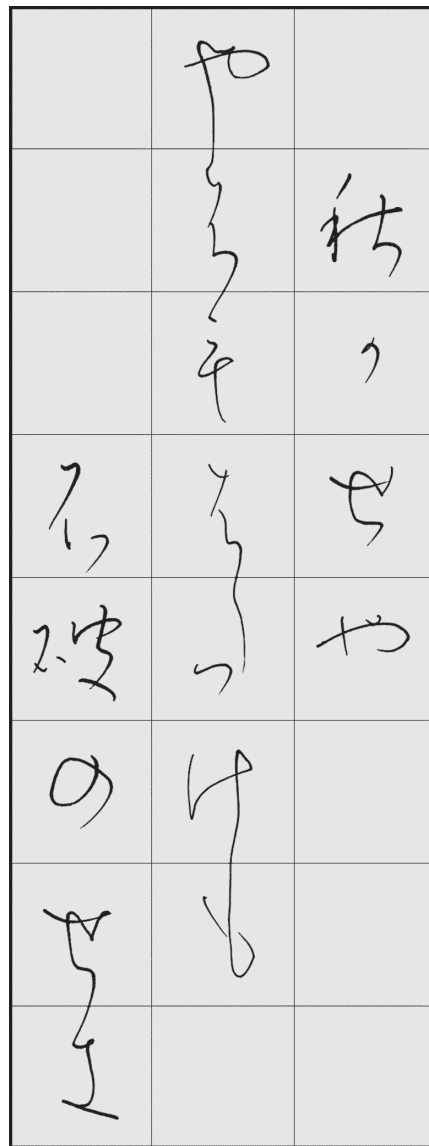


いし がき しゅう か 書
石 垣 秀 華

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

可世
や不毛者多け
秋風や藪も畠も不破の関



いし がき しゅう か 書
石 垣 秀 華

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

◆12月課題予告

かくれけり師走の海のかいつぶり

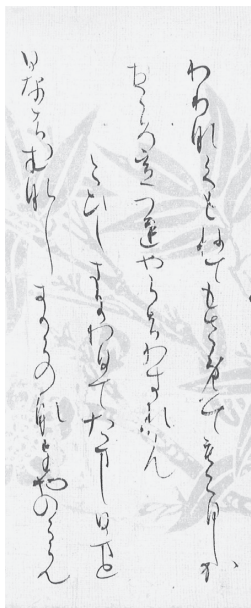
者^は 毛^も 布^ふ 支^き
者^は 毛^も 布^ふ 支^き
者^は 毛^も 布^ふ 支^き
者^は 毛^も 布^ふ 支^き

〔古筆参考〕

秋風や藪も畠も不破の関
(芭蕉句集より)
〔出典〕貞享元年。不破の関跡での吟。
甲子吟行
〔作者〕松尾芭蕉。正保元年(一六四四)〜元禄七年(一六九四)俳人。名は宗房、別号は桃青・風羅坊。
〔大意〕眼の前の藪にもこの畠にも、秋風が吹きすすんでいる。ここは昔の不破の関跡の跡なのだの意。関屋もなく藪や畠ばかりとなった関跡の荒涼と、秋風の悲愁感を詠んでいる。
〔解説〕漢字とかな、変体かなの組み合わせにより、変化をつけることに努め、連綿も多すぎないようにしました。

〔古筆参考〕

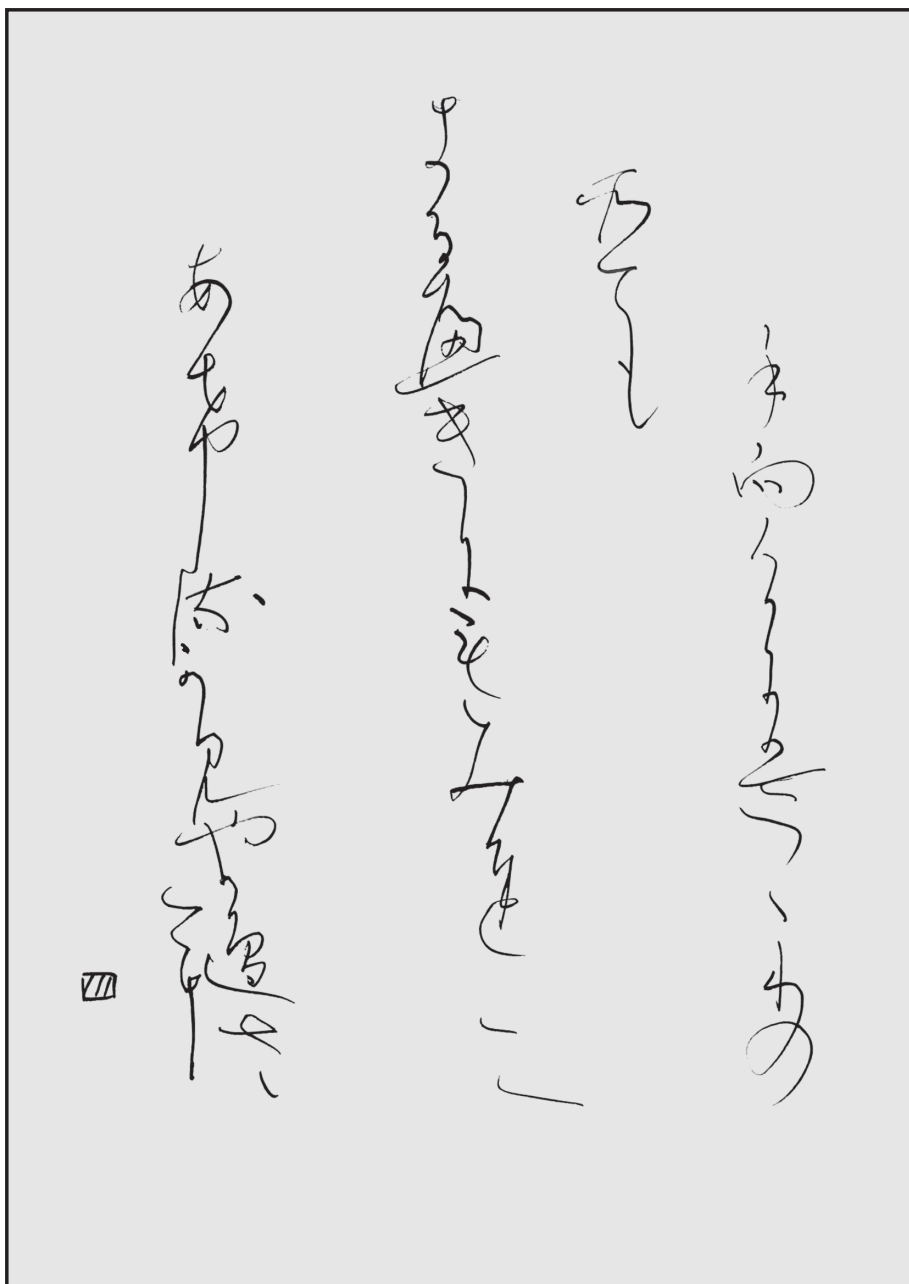
ほん あ み ぎれ
本阿弥切



利那 免毛 脱か
わりなくもねてもさめてもこひし(き)か
古 脱か 意 遅 者
こころ(を)いつちやらばわすれん
文 尔 万 日 万
こひしきにわびてたましひまど
日 者 那 文 可 那 尔
ひなばむなしきからのなにやのこらん

締切り 十二月二十一日(必着)

築瀬舟香書



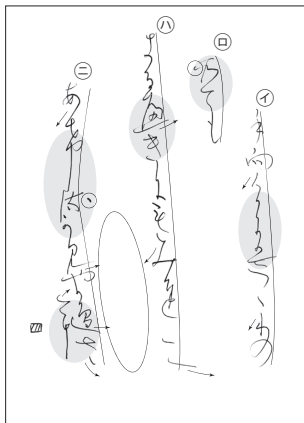
手向けにはつづりの袖も裁るべきに
もみちに飽ける神やかへさむ
介 尔 盤 利 所 文 遍
毛 遊 二 希 流 可 見 可 邊 牟

〔歌意〕このたびの行幸には、手向けの幣の用意もして参りませんでした。私の破れた衣の袖でも切って代わりにすべきですが、神様は、こんなにも美しい紅葉が幣のように散るさまを堪能するほど御覧になっていらっしやいますから、そんな事をしてもきつとお返しになる事でしょう。

〔出典〕古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



①と②、③と④、⑤と⑥、それぞれ
呼应。

- 大きな間。
- 行の中の密の動き大切。
- ◀ の方向大切。
- 点の位置注意。

◆12月課題予告

消えはつる時しなければ越路なる
白山の名は雪にぞありける

締切り 11月21日(必着)

錦のじゅうたんを敷き詰めた様に
落ち葉が地面を美しく覆うこの頃
皆様には、つつがなくお過ごし
のことと拝察申し上げます。来週は
スケッチブックを脇に抱えながら
晩秋の山並みを散策する予定です。

錦のじゅうたんを敷き詰めた様に
落ち葉が地面を美しく覆うこの頃
皆様には、つつがなくお過ごし
のことと拝察申し上げます。来週は
スケッチブックを脇に抱えながら
晩秋の山並みを散策する予定です。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん 書
岡 嶋 桂 川

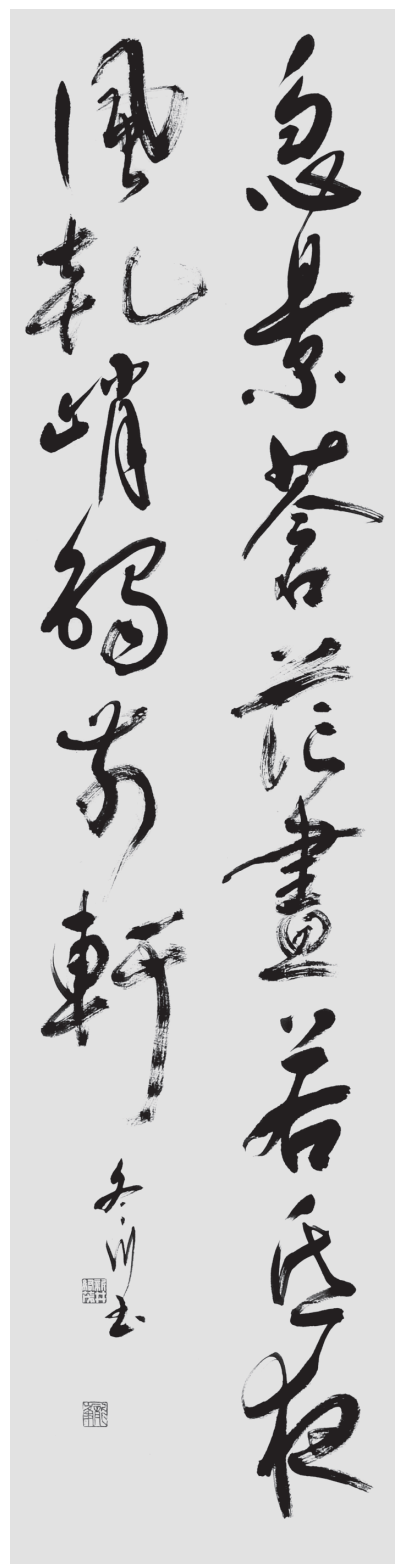
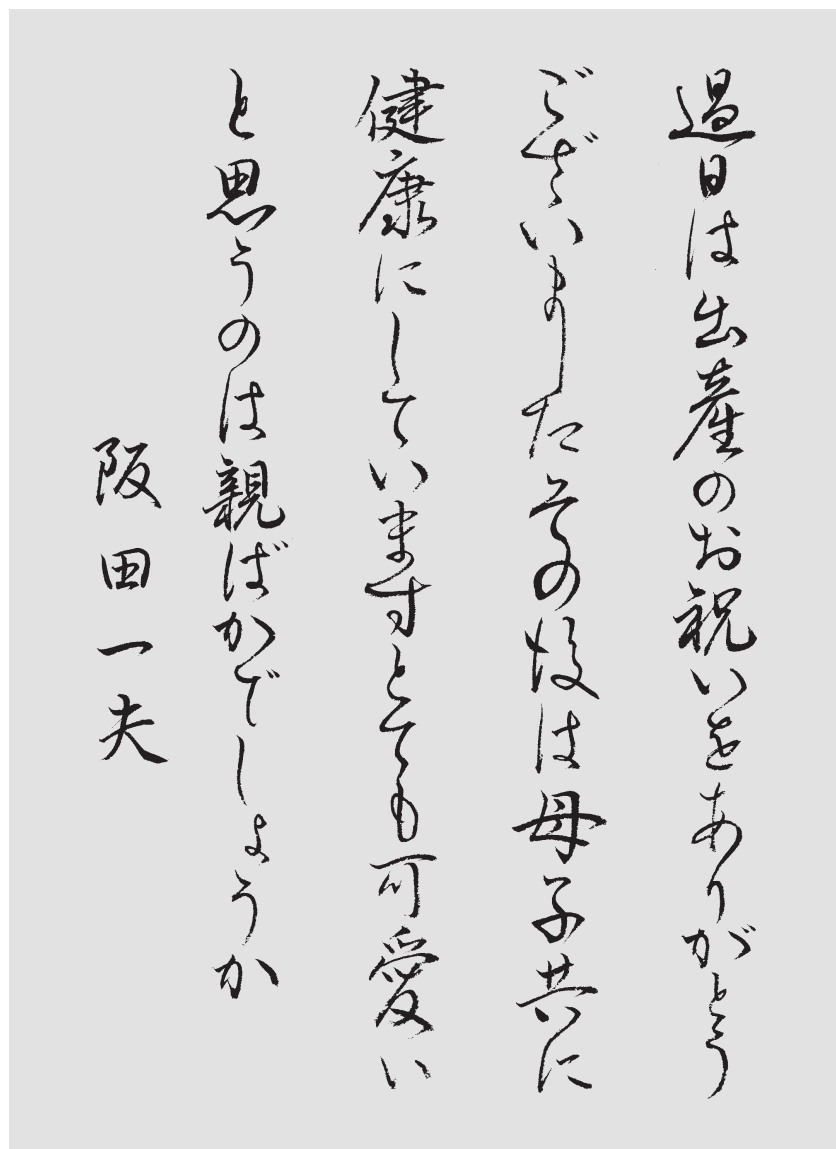
南総里見八犬伝は、江戸末期の
滝沢馬琴の代表的読本である。

岐阜県大垣市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 十一月二十一日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）

新井龍峰書

半紙（334mm×240mm）

伊藤梅香書

急景蒼茫晝若昏

夜風乾峭觸前軒

方千

〔条幅解説〕

一行目の文字と二行目の文字が並列になるのは、なるべく避けたいものです。特に二行目の最後の文字が一行目の文字と並列にならないようにしたいものです。

晝若
 軒

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位〜5等）は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

・印で墨つぎしました。

（ご自分の氏名）

過日は出産のお祝いとありがとう
 ございました。その後は母子共に
 健康にしています。とても可愛い
 と思うのは親ばかりでしょうか

〔大意〕 日脚短かき冬の日はほんやりとして昼も夕暮れのように、夜の風はきびしく軒を吹く。

初出品の方へ
 支部名・会員番号・
 姓名・毛筆漢字成績
 を、作品左下に必ず
 お書き下さい。

新入から1級まで(楷書)

涼風満
紅樹

涼風満紅樹
りようふうこうじゆにみち

〔大意〕紅葉の樹々に涼しい風が満ちる。

清水翠芳書

〔解説〕

涼風
満紅
樹

◆12月課題予告(行書)

孤月照
寒泉

準初段から師範まで

須田一葉臨

機要詞
茂道曠

機要詞茂道曠

機
要
詞
茂
道
曠

〔出典〕 集字聖教序（六七二）

〔筆者〕 王羲之法書より集字

〔読み〕（生滅の）機要を（体す。）

詞は茂く道は曠ければ、

〔解説〕

機要
詞茂
道曠

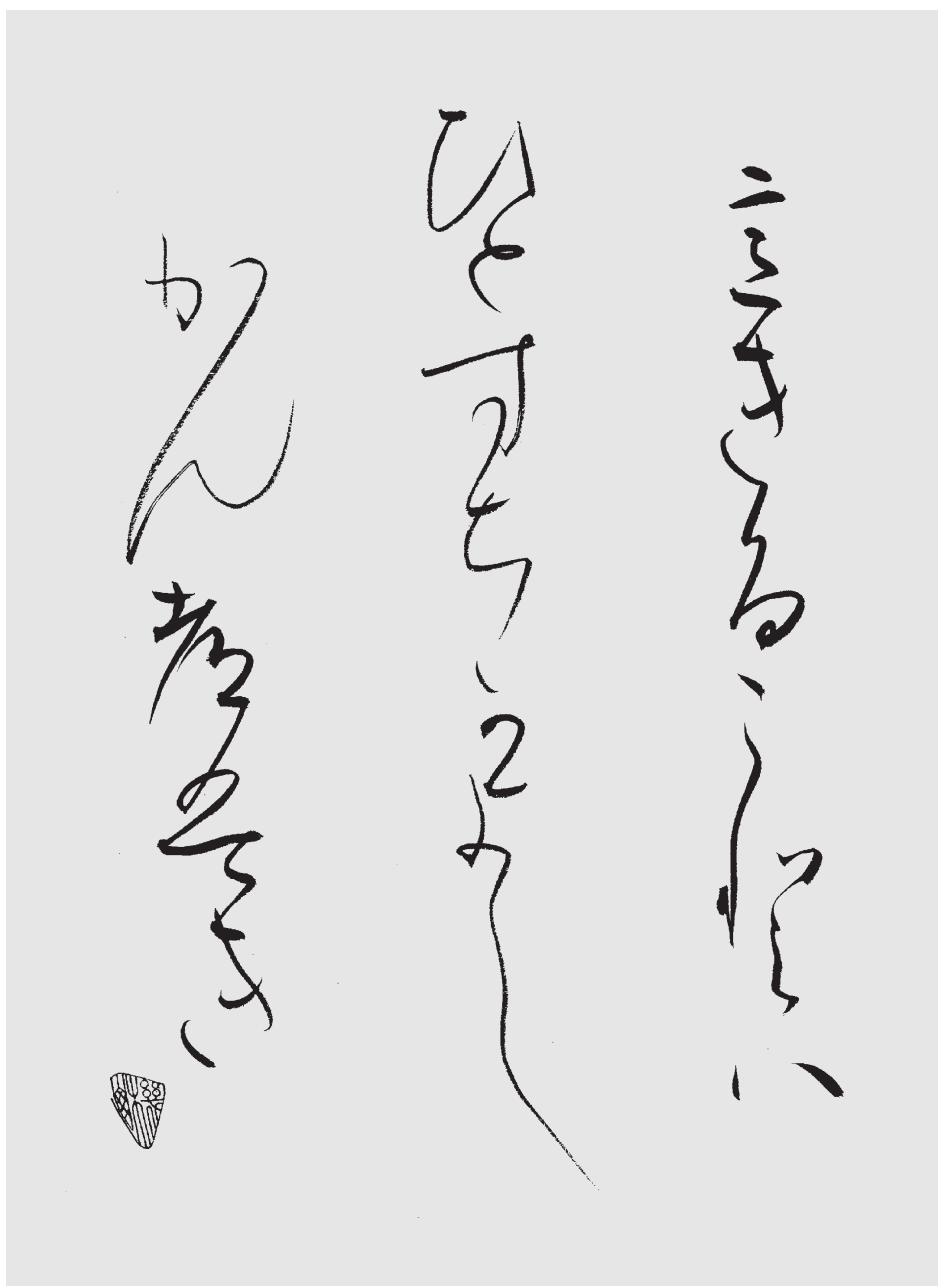
※文献によって字体が異なる場合があります。

◆12月課題予告

之く好
之く好

新入から1級まで

浅井機山先生書



意 登 八ひとすち可
生きることは一筋がよし寒椿

五所平之助

〔句意〕

仕事一筋に生きる人生を肯定した句。寒椿に咲く椿のいさぎよさが、一句を引き締めている。

〔古筆参考〕

意 い うつこときこ

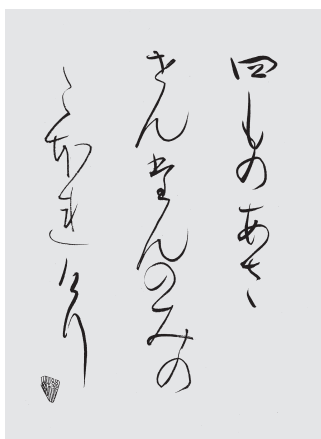
登 と せきせき

可 か ううう

都 っ けきけき

盤 は せきせき

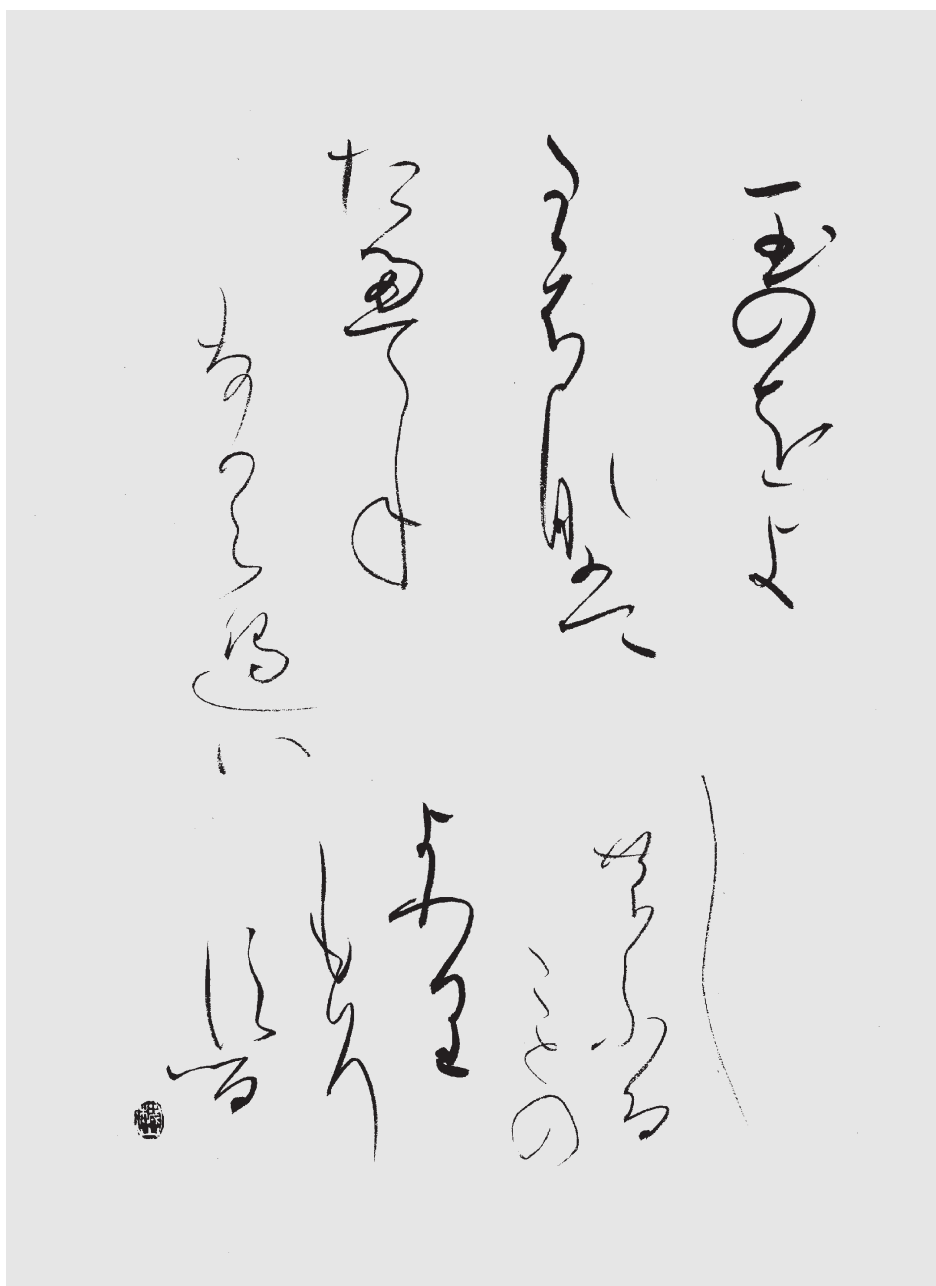
◆12月課題予告



霜の朝せんだんの実のこぼれけり

準初段から師範まで

浅井機山先生書



玉の緒^をよ絶^多えなば絶^那えねながら^盤へば^盈
忍^農ぶることの弱^よりもぞ^里する^曾
式子内親王^須

式子内親王

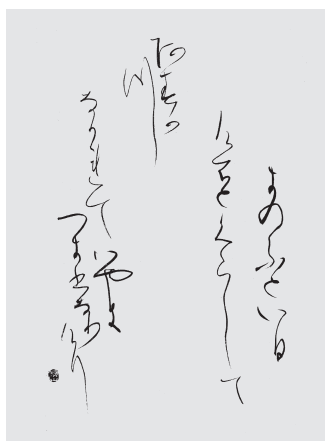
〔歌意〕

わが命よ、絶えるのなら絶えよ。これ以上
生きながらえていると、忍ぶ心の力も弱り
もしよう。そして人に知られることになっ
てしまうかもしれない。

〔古筆参考〕

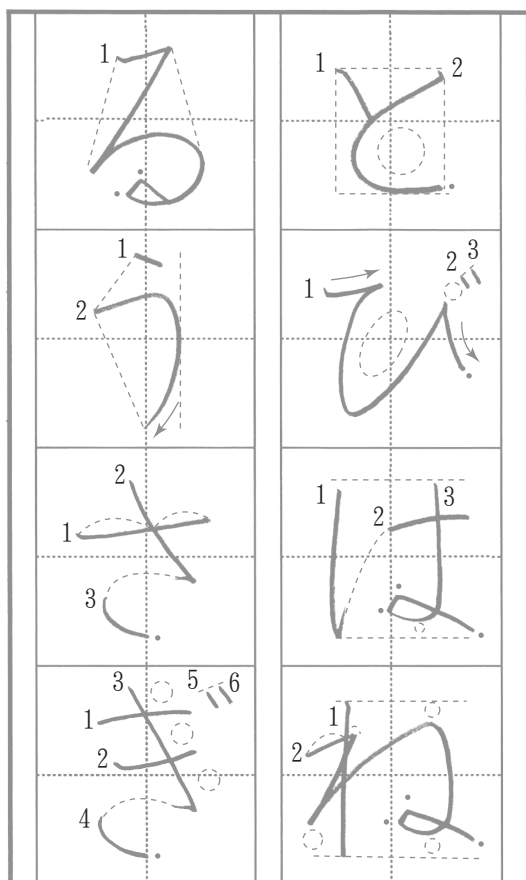
那^な 那^な 那^な 那^な 那^な 那^な 那^な
盤^は 盤^は 盤^は 盤^は 盤^は 盤^は 盤^は
邊^へ 邊^へ 邊^へ 邊^へ 邊^へ 邊^へ 邊^へ
農^の 農^の 農^の 農^の 農^の 農^の 農^の
曾^そ 曾^そ 曾^そ 曾^そ 曾^そ 曾^そ 曾^そ
留^る 留^る 留^る 留^る 留^る 留^る 留^る

◆12月課題予告



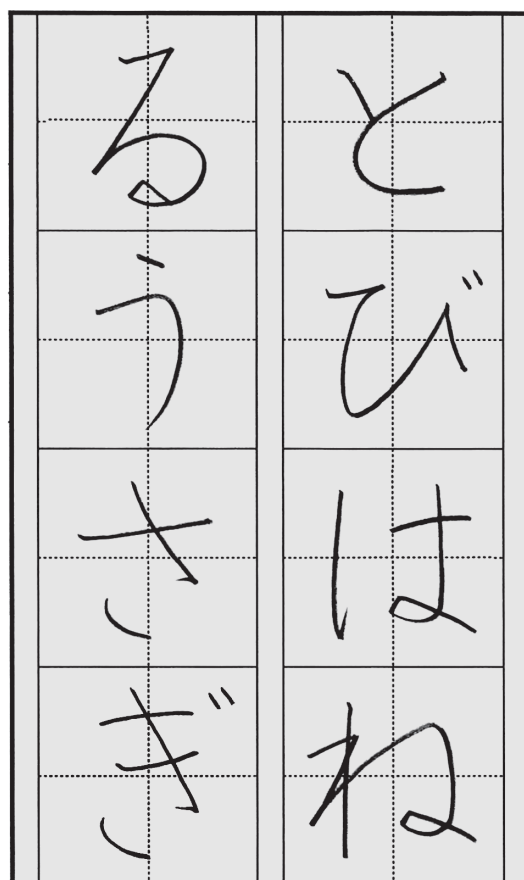
昨日^{きのふ}といひ今日^{けふ}と暮^くらしてあすか川^{かは}
流^{なが}れてはやき月^{つき}日^ひなりけり

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)



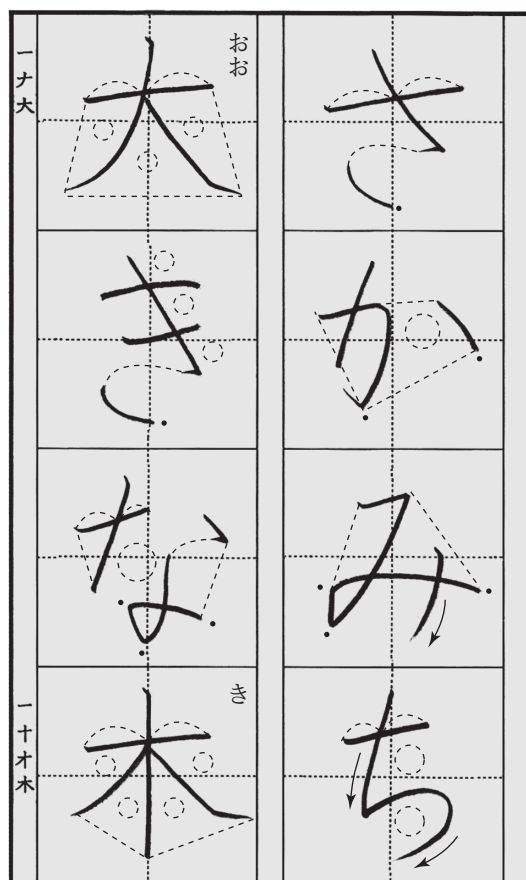
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



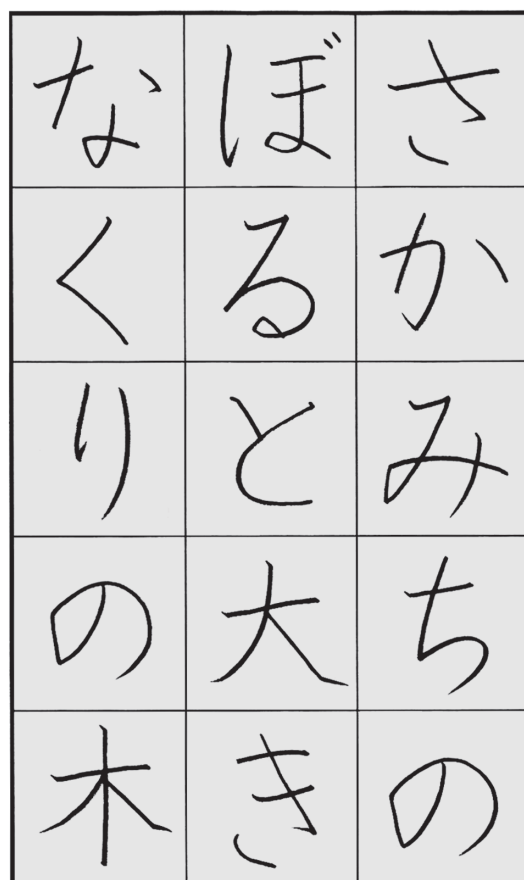
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

か	三
し	百
買	円
う	お

新入〜1級

か	三	近
し	百	く
を	円	の
買	の	店
う	お	で

小二年

準初段以上

う	新
漢	し
字	く
を	習

新入〜1級

て	漢	新
お	字	し
ぼ	を	く
え	書	習
る	い	う

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

絵	航
は	空
が	便
き	で

新入1級

き	し	航
が	い	空
来	絵	便
た	は	で
よ	が	美

小四年

準初段以上

小四年以上
前 堀 玉 華 書

工	部
場	製
見	衣
学	造

解説(よく見て習いましょう)

工	を	テ
場	製	レ
の	造	ビ
見	す	部
学	る	品

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具 自由(黒色に限る)〉

潮	朝
時	予
刻	報
調	満

解説(よく見て習いましょう)

刻	報	朝
を	で	の
調	満	天
べ	潮	気
た	時	予

小六年

(全員)

船	出	東
で	港	京
海	す	湾
外	る	か
へ	客	ら

中二・三年

(楷書)

菓	と	小
子	牛	麦
を	乳	粉
作	で	と
る	お	卵

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 出井美華書

元	お	葉	拾	校
気	も	や	い	庭
に	ち	木	集	や
遊	や	の	め	公
ぶ	を	実	た	園
	作	で		で
	り			



◎お手本はえんぴつ使用

- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



しめきり 11月21日（必着）

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 まし づめ せい こう 書
猿 爪 静 光

冬	静	北	時	日
が	か	風	雨	差
近	な	に	が	し
づ	町	ふ	ま	薄
く	に	る	じ	く
		え	る	
		て	空	



※時雨＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はつけペン使用



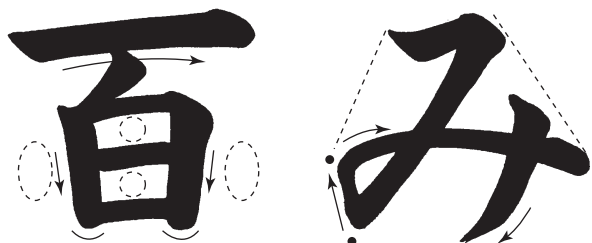
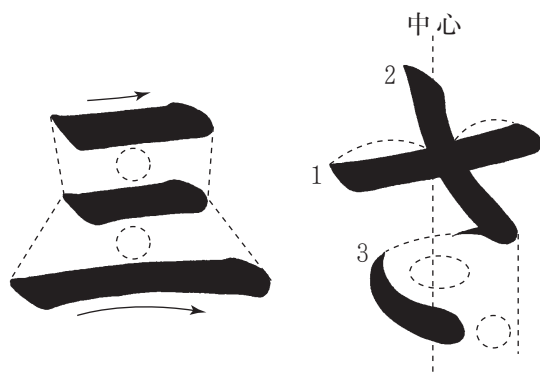
小二

三百

さい

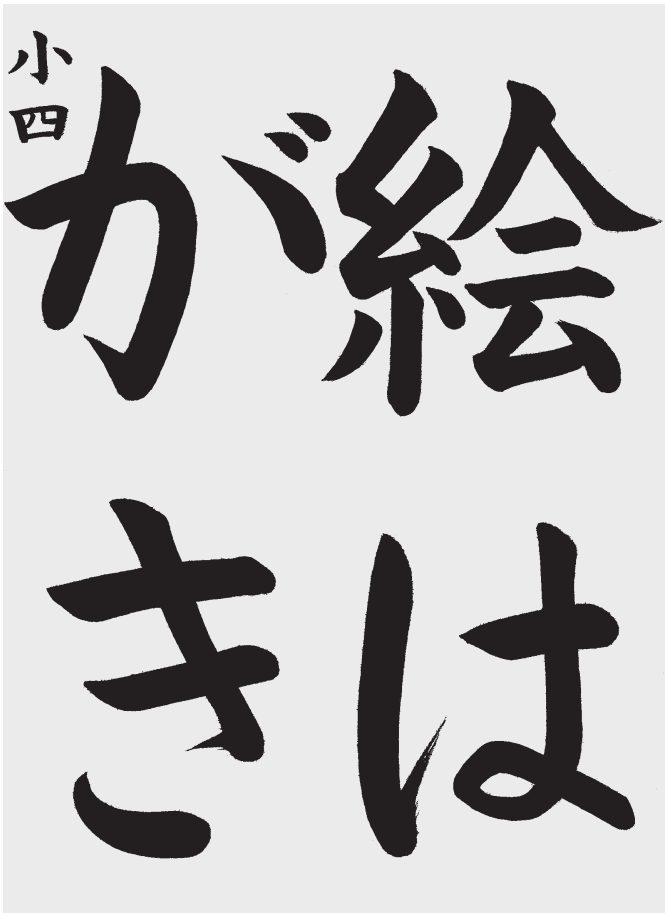
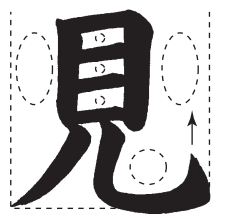
十

幼年／小二年
酒井智仔書



小一

みち



小三・小五年
水野碧友書

中
三

東京
出港

小
六

天気
予報

小六・中二・三年

永谷恵子書

乳

気

京

報

港

卵

中
一

牛卵
乳と

第129回 硬筆検定試験受験要項

11月21日締切り

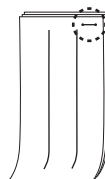
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十一月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題（小一から）⑤小論文⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を十二月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和七年十一月二十一日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和八年二月号

▼肉筆手本希望者は、ご希望の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

一般部三段コースまで（規定・かな）… 一、二〇〇円

規定 …… 一、四〇〇円

活字課題 …… 二、〇〇〇円

はがき・かな …… 八〇〇円

教育部 ……

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料 (新価格)
				楷書	行書	草書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,800
	三段コース	三段まで	下掲課題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,500

▶かな……石垣秀華書

▶規定……奥村憲照先生書

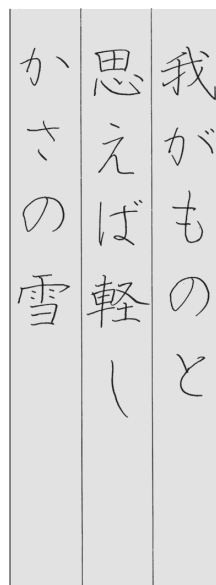
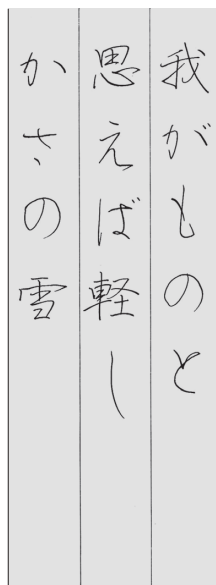
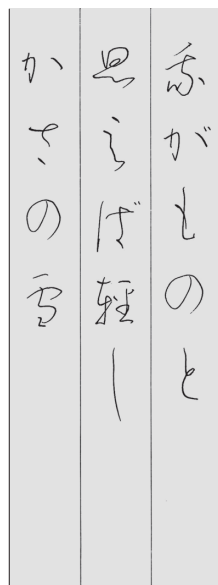
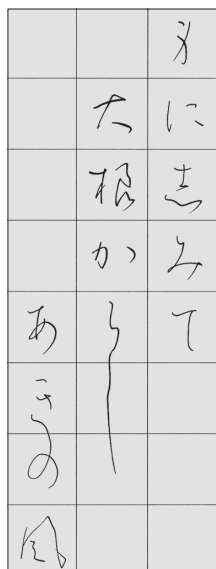
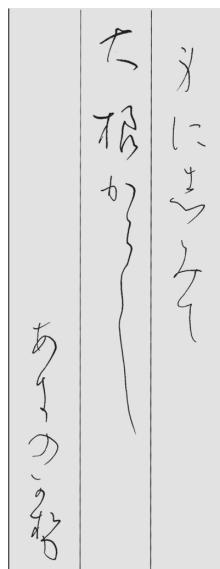
課題(ロ)
段位用紙

課題(イ)
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行書》
段位用紙

《楷書》
段位用紙



◎1級コースは級位（マス目）用紙使用のこと。

身にしみて大根からし秋の風（芭蕉）

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

課 題 コース		受 験 資 格	最 高 昇 級 段 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書				
一 般 部	書範コース	・有 段 者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(□)1	1	5	3,400
	教範コース	・書 範 ・支局・支部長	教 範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,600
教 育 部	普 通 コ ー ス	_____	11月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由							1	450
	会 友 コ ー ス	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生	11月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) ※筆記具は自由							2	770

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すで
に単位を取得されている、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただ
し、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

書範・教範コース課題

規定 両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

博愛を

実践するには

最大の勇気が必要

かな

▼書範コース……前頁かな(□)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

白露も時雨もいたくもる山は
下葉のこらず色づきにけり(紀貫之)

はがき 両コース共通

秋もようやく深くなり、山村にも
また格別の趣があります。燃える
ような紅葉の色、溪流のひびき、
この静かな山にご家族でおいでに
なりません。家内も料理の腕を
振るってお待ちしております。

(はがき用紙使用)

■教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚

用具＝えんぴつ

小 1	森
小 1	にか
小 1	れた
小 1	町

用具＝鉛筆以外

小 4	新
小 4	しい
小 4	試
小 4	運
小 4	転

用具＝鉛筆以外

中 3	幼
中 3	い
中 3	は
中 3	奔
中 3	放
中 3	で
中 3	奇
中 3	夢

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題 教範コースのみ

▼題 名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にまとめるとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

▼十一月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

注	な	点
意	り	や
し	を	線
よ	特	の
う	に	連

(行 書)

第89回 毛筆検定試験受験要項

12月18日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和七年十二月十八日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和八年三月号

▼肉筆手本希望者は、ご希望の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)
※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな
一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円
一、四〇〇円	一、二〇〇円	一、四〇〇円	一、二〇〇円	一、四〇〇円	一、二〇〇円
三、八〇〇円	二、〇〇〇円	三、八〇〇円	二、〇〇〇円	三、八〇〇円	二、〇〇〇円
九、〇〇〇円	九、〇〇〇円	九、〇〇〇円	九、〇〇〇円	九、〇〇〇円	九、〇〇〇円

◆一般部1級・三段コース

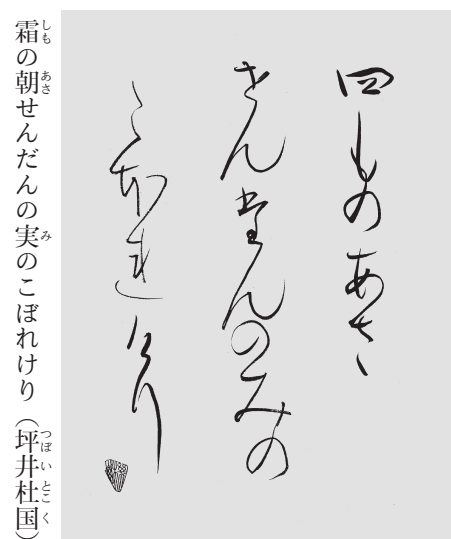
コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料 (新価格)
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,800
	三段コース	三段まで	22ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,500

〔1級コース課題〕

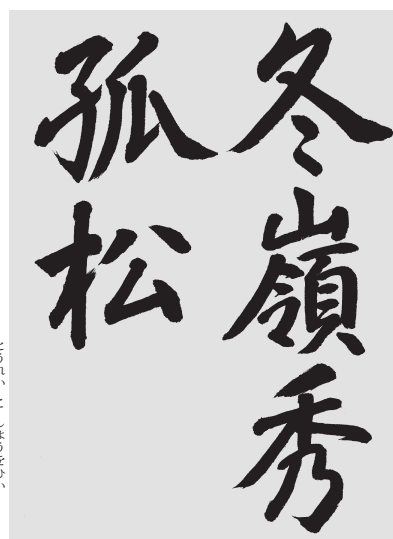
《かな》

《行書》

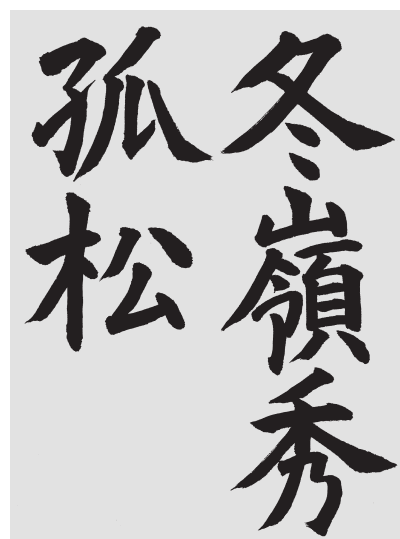
《楷書》



浅井機山先生書



清水翠芳書



コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教 育 手 本	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書						
一 般 部	五 段	有 段 者	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	3,100
	書 範	有 段 者	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,600
	教 範	書 範	教 範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,600
教 育 部	普 通	—	12月しめきりの月例競書課題									1	450
	会 友	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	770

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。

五段・書範・教範コース課題

漢 字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑

可 得 言 焉 自 肇

▼集字聖教序

也 陰 陽 處 乎 天

▼書 譜

夫 自 古 之 善 書

かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎昨日といひ今日と暮らしてあすか川
流れてはやき月日なりけり(春道列樹)

※22頁参照

条 幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

黄 醅 緑 醅 迎 冬 熟
絳 帳 紅 爐 逐 夜 開

細 字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いて下
さい。

今年も一方ならぬお世話になり
有り難うございました 感謝の
しるしにと心ばかりの品をお届け
します ご笑納願います

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

小 1 も み

小 6 記 念
写 真

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

会友コース課題

若 者

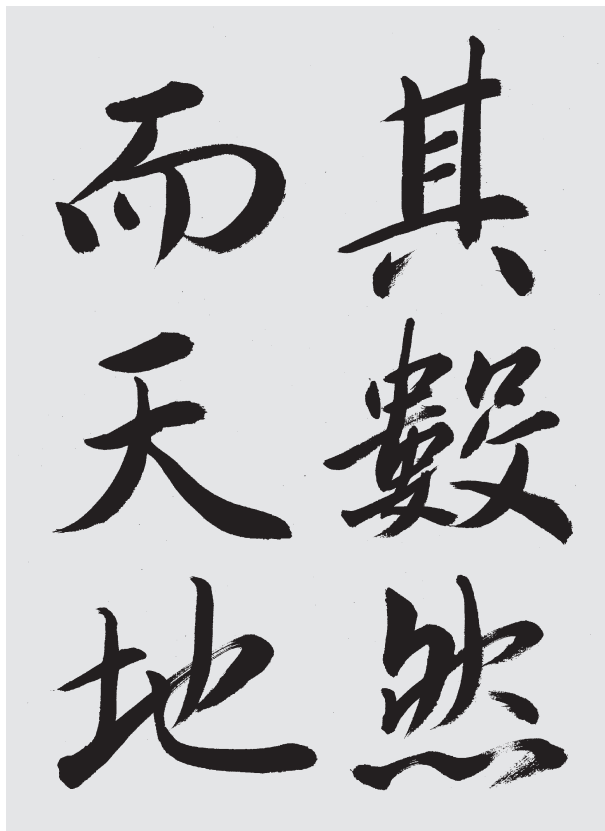
(行 書)

▼十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。

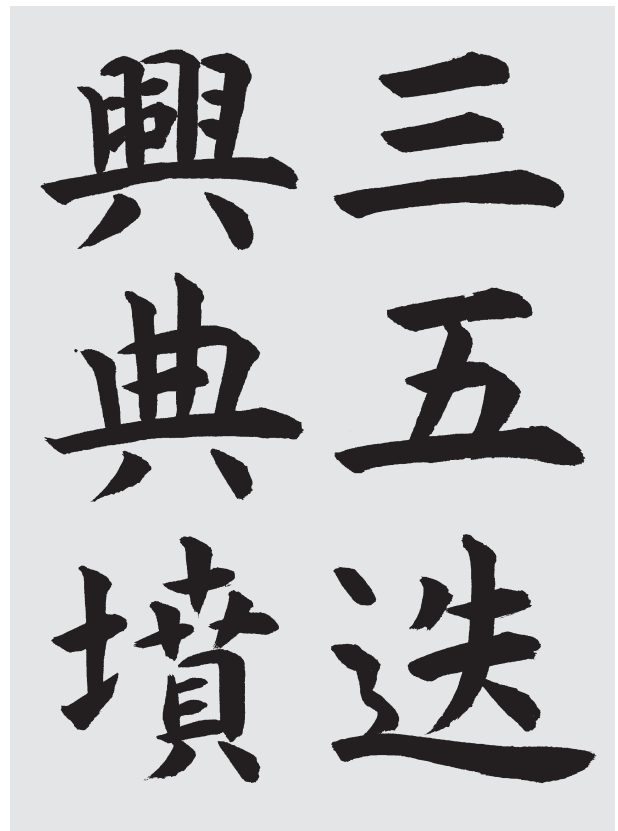
◆毛筆検定試験三段コース課題

《集字聖教序》

《孔子廟堂碑》



其數然而天地

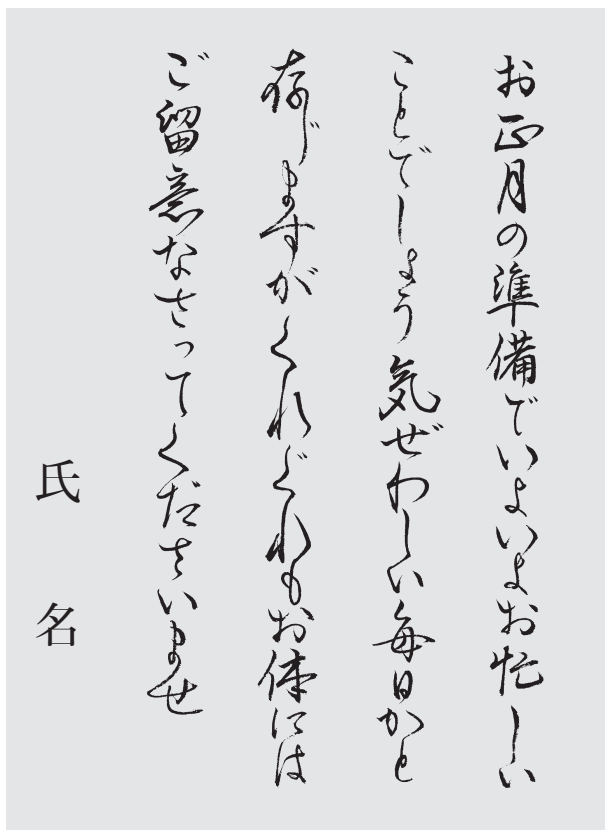


三五迭興典墳

神谷葵水先生臨

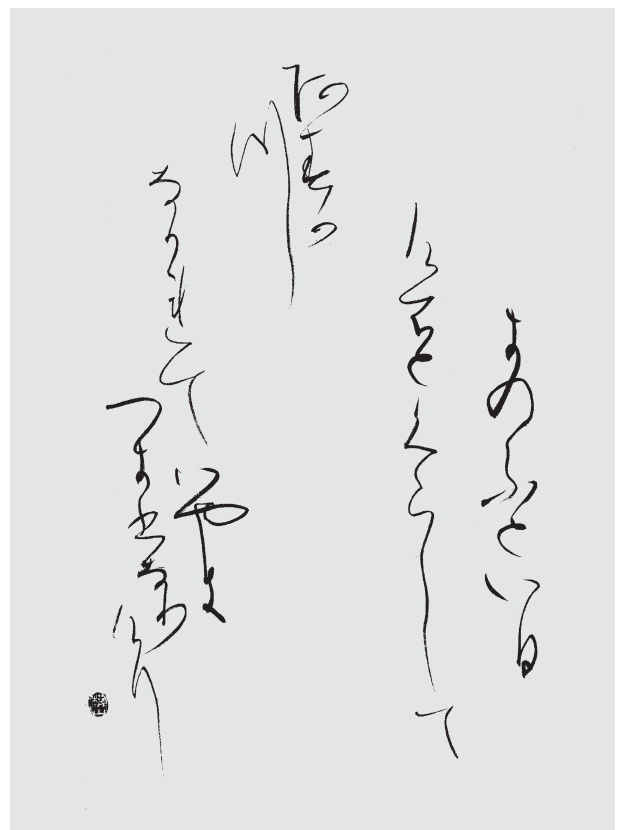
《細字》

《かな》



氏名

伊藤梅香書



浅井機山先生書

昨日といひ今日と暮らしてあすか川
流れてはやく月日なりけり
(春道列樹)

※かな・細字課題は十二月の月例課題を兼ねます。